

奥多摩 川苔・川乗ボルダー

2016.3.22 retK

奥多摩の川苔谷には「川乗の岩場」以外にも幾つかのクライミングエリアとボルダリングエリアが存在する。古くは百尋の滝の側壁などが登られ、それ以外では、クライミングエリアとしては、細倉橋、林道上、竜王橋、井戸底などが、そして、ボルダリングエリアとしては、川乗エリアと川苔エリアが挙げられる。

クライミングエリアについては、川乗の岩場以外はハンガーが外されている。

ボルダリングエリアは、便宜的に名称を上下流別にした。川苔エリアは竜王橋から細倉橋周辺の上流エリア、川乗エリアは川乗の岩場周辺もしくはその下流のエリアと考えてもらうと良い。今回は川苔エリアはC岩とE岩、川乗エリアはI岩とJ岩を紹介する。

なお川乗エリアの地図で丸く囲った部分のボルダーは地権者がアウトドアの活動をされているので、トラブルを避けるため登らないほうが良い。

アクセスは車利用が便利。奥多摩から日原街道に入り、白妙先の川乗橋から林道に入る。林道入口のゲートは開いて入れるが必ず閉めていくこと。各ボルダーの近くに駐車スペースがあるので、迷惑にならないように停める。川乗ボルダーのI岩とJ岩は駐車スペースから少し戻った所に下降路があるので、必ずそちらからアプローチすること。

最近この付近はキャニオニングが行われているらしく、もし興味があってもいい場合は、トラブルなど起こさないよう配慮が必要である。

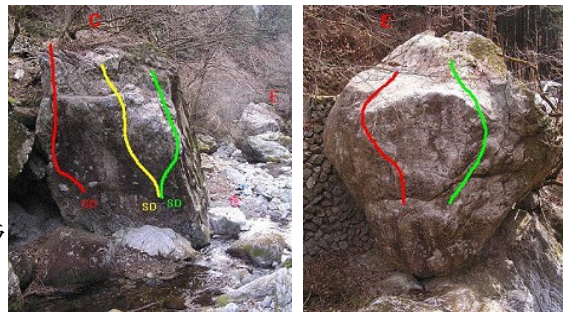


●川苔ボルダー

○C岩(左)&E岩(右)

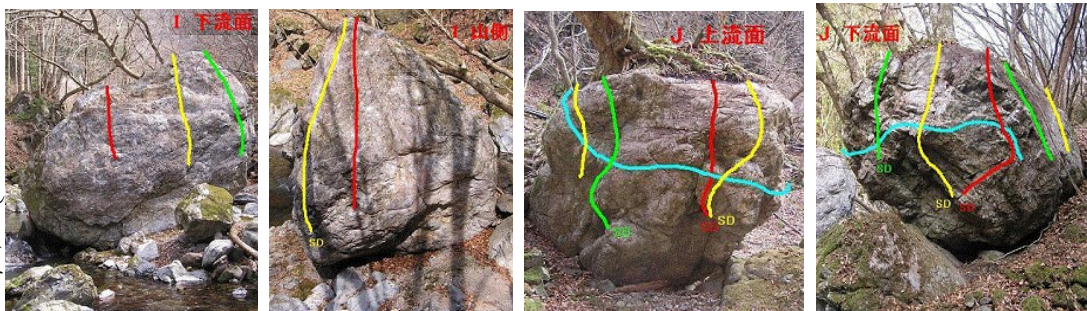
C岩は適度にハングしたボルダー。トライした当時は下に岩が出ていて緊張したが、現在の状況は分からない。この辺は増水があると良く下地が変化するようだ。

E岩は林道下、石垣横にあるハイボルダー。左の赤インがお勧め。今は苔が出てしまっていると思われる。当時はシート1枚のトライだったが、今はマットを使用した方が良い。



●川乗ボルダー 左から、I下流側、I山側、J上流側、J下流側

I岩は川沿いにあるちょっと大きめの岩。山側の中央辺りはまだ登れていないが、良い課題になりそうである。



J岩はトラヴァース課題などが面白い。